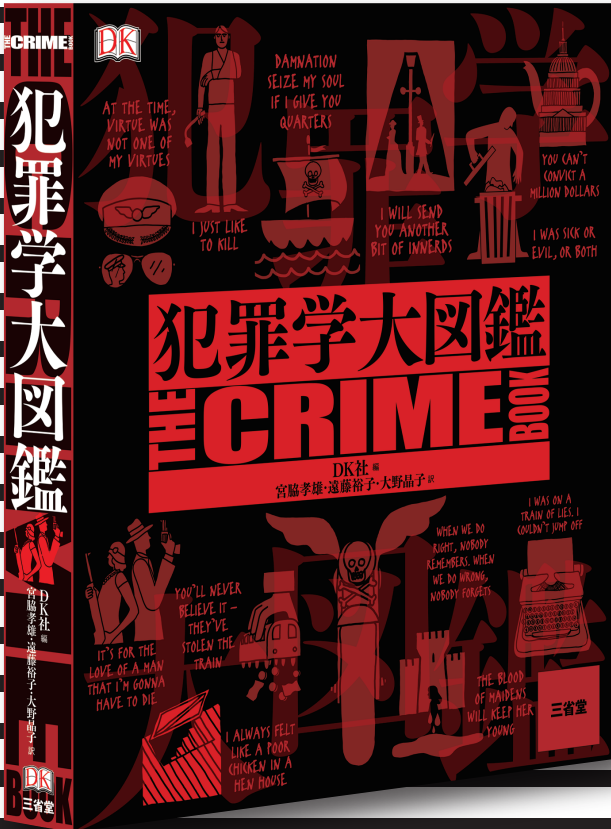


犯罪をとおして社会と人間の本質を みつめたい人のために

世界の歴史に残る101の事件を、
オールカラーの写真や図解とともに解説



●ボニーとクライドや大列車強盗から、切り裂きジャック、ブラック・ダリア事件、マフィアやヤクザ、マンソン・ファミリー、ジョン・レノンの殺害、リンカーンやケネディの暗殺まで、世界の犯罪史に残る101の事件をとりあげ、オールカラーの写真と図解で詳説。事件のあらましだけでなく、その背景や犯罪者の心理、後世に与えた影響など、多角的に掘り下げた充実の内容。

●緻密な調査に裏打ちされたノンフィクションでありながら、各項目の記述は臨場感にあふれ、読者を飽きさせない。犯人逮捕に向けた警察の動きもいきいきと描かれ、ミステリ小説のように読み進めることができる。

●犯罪と法律の関係や、指紋鑑定やDNA鑑定など進化する捜査方法にも注目。犯罪が時代とともにどう変化したか、警察や司法機関や世論がその変化にどう応えたかを浮き彫りにした、読むほどに興味を尽きない一冊。

B5変型判 352ページ 定価(本体4,200円+税)

主な目次

はじめに

強盗、泥棒、放火魔

●エドワード・〈黒髭〉・ティーチ／ボニーとクライド／大列車強盗／チェルシーの塩入れ盗難事件／ハットン・ガーデン強盗事件 ほか

詐欺師たち

●首飾り事件／クロフォード家の相続財産／エッフェル塔売却事件／アルカトラズからの脱出／ファインコットン号事件 ほか

知能犯罪

●ブラックフライデー金買い占め事件／シティ・オブ・ロンドン債券強奪事件／シーメンス社贈賄事件／SpyEyeマルウェアによるデータ盗難 ほか

誘拐・脅し

●ボカホンタスの誘拐／リンドバーグ愛児誘拐

事件／ジョン・ポール・ゲティ三世誘拐事件／パティ・ハースト誘拐事件 ほか

殺人

●ネアンデルタール人の殺人／ブラック・ダリア事件／平沢貞通／マンソン・ファミリー／ジョン・レノン殺害事件／O・J・シンプソン ほか

連続殺人者

●切り裂きジャック／イアン・ブレイディとマイラ・ヒンドリー／フレッド&ローズマリー・ウェスト／ゾディアック事件／アンドレイ・チカチーロ ほか

暗殺と政治的陰謀

●暗殺教団／エイブラハム・リンカーンの暗殺／ラスプーチン暗殺／ジョン・F・ケネディの暗殺／アレクサンドル・リトビネンコの毒殺 ほか

犯罪録／索引／訳者あとがき

THE CRIME BOOK 犯罪学大図鑑



DK社 編
宮脇孝雄・遠藤裕子・大野晶子 訳

三省堂

BOOK

信じないだろうが、 奴らは 列車を 盗んだんだ

大列車強盗 (1963年8月8日)



- 事件の概要にとどまらず、犯罪者の心理や多様な捜査方法、社会に与えた影響まで、幅広く考察。
- 各項目の記述は臨場感にあふれ、ミステリ小説のように読み進めることができる。

32 大列車強盗

事件のあとさき

場所
英国、ハッキンガムシャー、
レッドバーン

テーマ
列車強盗

以前

1955年5月15日 約9キログラムの金、ロンドン・ブリッジとフォーカストンのあいだを走行中の、サウス・イースタン鉄道車両内の金庫から盗み出された。

1924年6月12日 ニュートン・ギャング団がライオンズロケット近くで郵便列車を襲い、約300万ポンドを強奪した。当時史上最大の列車強盗事件を起した。

以後

1976年3月31日 アイルランドのヨークからダブリンへ向かう列車が、オックスフォード近くで強盗にあった。犯人はアイルランド共和社会党のメンバーだった。

1960年代前半、多くのロンドン市民にとって、日々の暮らしはひどく貧しく、手調であった。戦後からわずか6年とあって、戦後の厳しい配給生活も記憶に新しくなかった。

ソーセージ工場での立場を利用して町中で肉を売り、あぶく銭を得ていたロナルド・タリスター（バスター）・エドワーズは、次第に友人のゴードン・グレイと共に強盗を働くようになった。二人は司法当局とのいざこざを通じて法律事務所事務員ライオン・フィールドと知り合った。ライオンの仕事は二人の弁護の準備に留まらなかった。儲け分け前を得るために、彼はこの二人組に、将来の標的となりそうな顧客の情報を流した。

1963年前半、フィールドは二人に「ウォルターマン」という名で知られる男を紹介した。北アイルランドのベルファスト生まれのバリー・マクナマラと思われるその男は、マンチェスターの郵便局員で、耳寄りな情報を届けてくれた。巨額の現金を、夜行郵便局員がガラス

“
私は少数派の一人だろうか、
大列車強盗の敵にある技術と
グレアム・グリーン”

ゴからロンドンまで運ぶというのだ。絶望的な話ではあったが、グレイとエドワーズには荷が重かった。そこで彼らはこの情報を経験豊富なロンドン南部の犯罪者、ブルース・リチャード・レイノルズのもとに持ち込んだ。その後数か月で、レイノルズはその場かぎりのギャング団をまとめあげた。

よく練られた計画
レイノルズたちが列車を止めようとした場所は、信号の操作が可能なシャー

参照 ジェームズ・マクギー・ギャング団 24-25 ■ ワールドバンク 150-51

列車をブライドゴウ鉄道橋の手前で止ると、ギャング団は上手の上から道路側を列を作った。そして戦利品を、写真的黒い車があるところに停めておくトラックに積み込んだ。

難しかった。この難関はパッキングシャーの、見通しのよい田舎の地であり、レッドバーンの村には近かった。しかし上手が高く、戦利品を下ろすには向いていなかった。そのため、列車をブライドゴウ鉄道橋まで移動することに決めた。郵便列車は長い編成で、最高80人の郵便局員が手紙や小包を仕分けしながら移動した。ギャング団は前から2番目の車両に高価な貨物を載せられていることを調べ、前から2車両分を連結のけを解く計画を立てた。ブライドゴウ鉄道橋にたどり着けば、郵便局員の手から手へと受け渡しながら、下の道で待っているトラックとつなぐことができるかと考えた。

強奪した列車の運転士が自分たちの要求を拒んだ場合に備え、ブライドゴウ鉄道橋を研究させた。その男は学校教職員の職を捨てて郊外の運転士に転身し、運転を限定して基本を積み込んだ。レイノルズは念のため経験豊富な運転士も雇った。フィールドは設置されたレーザーレドフィールドの交差点に立ち、シャー路切から約50キロメートルの場所にあるこの農場を訪れた。

大勝利

8月7日曜日午後7時、自らの列車がガラスを穿った。運転士にはべ



テランのジャック・ミルズが、そのかわりに交代要員のデヴィッド・ウィットビーが乗っていた。高価な貨物を載せられた車両には、予想の30万ポンドをはるかに上回る、200万ポンドを超える現金があった。先の月曜日に休日で銀行が閉まっていたからだ。

列車がシャー路切の手袋をかけて直には、強盗団は青信号を手袋をかけて直

“
「あなたの目の前にいる
「伝説的人物」を作ったのは
英国のゴッドミッド。
だからおれは、自分が誰だか
あなたに訊くべきなんだろうよ。
ロニー・ビグズ”

「隠し、「生まれ」の赤信号を外付けのバッテリーに繋ぎおいていた。ミルズは列車を停止させ、ウィットビーは信号を調べに行った。線路脇の電話で連絡を取ろうとしたが、線が切れているのに気がついた。

列車に戻ろうとしたウィットビーは、バイクのヘルメットとスキーマスクをつけた男たちに、急勾配の手から投げ落とされた。一方、マスクと手袋をつけた男の男たちはミルズの車に近づき、彼を銃で脅して意識を失わせた。ほかの者たちは高価な貨物を載せた車両の後面で連絡を外し、郵便局員たちを拘束した。

運転士の交代要員は「スタン・アグイト」という呼び名の運転士だった。彼は最先端のクラス40ディーゼル電気機関車を操縦できた。ミルズを失神させたものの、ブライドゴウ鉄

34 大列車強盗



道筋に至る前に列車を入れるためには、彼らの意識を回復させなければならなかった。移動後、強盗団は郵便を上手に下ろした。手早くトラックに積み込んだ。30分間は警備に連絡した郵便局員たちがいよいよ、意気揚々とシャーレド農場の隠れ家へと去っていった。

避けられない過ち

この事件が「大列車強盗」そのもので、すべてが映画化されているのは理由がある。この数十年で、こうした金入りに計画された犯罪が、犯罪者ではあるが映画製作業者のおかげで世間にも知られていたからだ。

この手の犯罪はリスクが高い。多くの手が必要だ。この事件には最高で

17人が関わっているはずなのだが、今日まで身元が判明しないメンバーも数人いる。彼らは戦利品を均等に分ち合っている。仲間割れの原因を作らないようにした。誰も危険性を減らすために。

“
もちろん金が好きだから
泥棒になるんだが、
二番目の理由は
泥棒が合理的で楽しいからだ。
(バスター)・エドワーズ”

企ての露見
1週間を身を潜める計画だったが、すぐに警察が近くまで迫ってきた。両事からは、強盗団が郵便局員たちに30分は連絡するといった点に注目し、車で30分の圏内に隠れ家があると踏んだ。警察はレーザーレド農場を捜索した。近隣住民が農場でいつも通り動きが

しかし、関わる人数が多いほどリスクは高まった。盗品の隠れ家も複数あり、犯罪についてしゃべり出す可能性がある。結局は、首謀者の知り合いが——その男自身も郵便局員として情報提供し、それが決定的な突破口となった。

企ての露見

1週間を身を潜める計画だったが、すぐに警察が近くまで迫ってきた。両事からは、強盗団が郵便局員たちに30分は連絡するといった点に注目し、車で30分の圏内に隠れ家があると踏んだ。警察はレーザーレド農場を捜索した。近隣住民が農場でいつも通り動きが

ロニー・ビグズ



ロニー・ビグズはギャング団の種痘師と見なされるのを嫌った。彼がこの大列車強盗に貢献したとは言い難い。1929年にロンドンで前部ストロウカーを生み出したビグズは、ぼろい押し込み強盗や武装強盗だ。ここから、ワズワース刑務所でワズワース・レイノルズに出会った。大列車強盗はビグズにとって初めての、そして唯一の大きな仕事だった。彼の主な武器は「スタン・アグイト」を仲間に入れて、列車の運転士の交代要員とすることだった。この運転士は強盗には列車を動かすことがなかった。当日の列車の車庫に隠れていたので、ビグズの前後が隠れ家から来た。ビグズの前後が隠れ家から来た。ビグズの前後が隠れ家から来た。

ケチャップ瓶から見つかった。彼は事件の3週間後に逮捕された。しかし、1965年7月8日に種痘師を捨ててワズワース刑務所から脱走した。プリムセに渡り、次いでオーストラリアに逃げてから、1970年にブラジルに落ちた。当時のブラジルには英国とあんなに犯罪者が集まらなかった。最終的には長年にわたる逃亡生活で、そのときの飛行機は「スタン・アグイト」を仲間に入れて、列車の運転士の交代要員とすることだった。この運転士は強盗には列車を動かすことがなかった。当日の列車の車庫に隠れていたので、ビグズの前後が隠れ家から来た。ビグズの前後が隠れ家から来た。

ロニー・ビグズがロンドンのワズワース刑務所を脱走していった。

神話化

列車の乗組員たちが負ったトラウマは、あまり前向きなものではなかった。

温情措置による釈放

2009年8月6日、長い脚镣を束ねた80歳のロニー・ビグズが「強盗」により釈放された。これは英国では稀なことだ。英国の刑務所のルールでは、犯罪者に優しい家庭の事情がある場合、または受刑者が入獄前の健康状態が良く、数か月のうちに釈放される可能性がある場合のみ適用される。ビグズは2013年12月まで生活したが、適用の是非をめぐっての議論はほとんどなかった。対照的だったのは、ビグズの2週間後に釈放されたアグバハセット

人ではなかった。当局が盗まれた200万ポンドのほんの一部しか回収できなかったという事実も手伝って、犯罪者が変化してしまっただけだった。この事件が起きたのは、自衛隊と化した施設を画と向かって戦える態度で行動した時代

アル・マガラセは、1968年にバンナム103 機を操縦した罪で服役していた彼を、スコットランドの司法長官は温情措置により釈放されたが、その判断が英国と米国のマスコミから叩かれた。マガラセは前回の強盗事件から逃げていた。しかし、彼の飛行機から釈放されたのは、本邦に到着するまでカナダ大佐の専用機に到着したり、ロシアに戻った彼が意図的に逮捕されたという点で、激しい非難の的となった。



この強盗事件に関連して逮捕された3人の男たち。前にも犯罪歴があった彼らには、写真的黒い車から隠れていた。

大淵憲一氏 (犯罪心理学者)
推薦
杉江松恋氏 (書評家、ミステリ評論家)

見本ページ(縮小)

訳者

宮脇孝雄 (みやわき たかお)

翻訳家・エッセイスト。主な著書に、『書齋の旅人』(早川書房)、『翻訳の基本』、『続・翻訳の基本』、『英和翻訳基本辞典』(以上、研究社)、『翻訳地獄へようこそ』(アルク)など。主な訳書に、『死の蔵書』、『幻の特装本』、『異邦人たちの慰め』(以上、早川書房)、『ソルトマーシュの殺人』(国書刊行会)など。

遠藤裕子 (えんどう ゆうこ)

翻訳家。主な訳書に、『ルグンドオ』(書苑新社)、『ジョン・レノン アメリカでの日々』(WAVE出版)、『テレンス・コンランの収集術』(エクスマレッジ)など。共訳書に、『世界シネマ大事典』(三省堂)、『世界アート鑑賞図鑑』(東京書籍)など。

大野晶子 (おおの あきこ)

翻訳家。主な訳書に、『天国からの電話』(静山社)、『切り裂きジャックを追いかけて』(Kindle版)、『メッセージ・イン・ア・ボトル』(SBクリエイティブ)など。共訳書に、『世界の名言名句1001』、『世界シネマ大事典』(以上、三省堂)など。

三省堂

〒101-8371 東京都千代田区神田三崎町2-22-14 ☎03(3230)9411〈編集〉・9412〈営業〉 <https://www.sanseido.co.jp/>

注文書	NEW 犯罪学大図鑑	ISBN 978-4-385-16239-3 定価(本体4,200円+税)	貴店名・帖合先 冊	三省堂	
	お名前	お電話番号			
	ご住所 〒				

※必要事項をご記入のうえ、最寄りの書店へお申し込み下さい。お客様の個人情報は本書のご注文のみに利用し、目的外の利用はいたしません。